

他者感情推定に関する観察者の身体性および 内受容感覚の精度の効果

本研究は、他者の表情から感情を推定する際に身体的手がかり（生理変化）を使用すると考える体現的シミュレーション仮説に基づいて、観察者の生理反応、他者の感情表出の強さ、および性別といった他者の属性はどのように関連し、観察者の感情推定に対してどのように影響するのかを明らかにすることを目的として進められた。得られた結果は以下の通りである。

1. 観察者の性別にかかわらず、同性の他者では他者が表出する感情価に対応した生理変化がみられた一方で、異性の他者ではそのような傾向はみられなかったことから、同性他者では自他同一視的な感情推定を行っている一方で、異性他者の感情推定では表情の図形的特徴といった視覚的手がかりが重要であることが示唆された。
2. 生理変化の知覚精度が他者感情の弁別精度に影響することから、生理変化が他者感情の推定に影響するという因果が支持された。

特に、身体変化に基づいた感情推定を調べるために、視覚情報に基づいた他者感情推定と生理変化に基づいた他者感情推定の二つの経路を持ったモデルを仮定し、さらに視覚的手がかりによって生理変化が引き起こされたのではなく生理変化が他者感情推定に影響するという因果を示した点が、体現的シミュレーション仮説を支持する新たな証拠である。